

Road to SAGA 2024 への道のり

“国体”から“国スポ”へと変わる「新しい大会」として、日本のスポーツ史にその名を刻んだ SAGA2024。

奇しくも大会直前に“3 巡目議論”が巻き起こるも、佐賀ではそれより早い段階から徹底的に「スポーツ」にこだわり、失敗を恐れずに数々のチャレンジを続けてきた。

全国からも大きな注目を集め、実際に SAGA2024 に駆け付けた多くの選手・競技団体・観客・マスコミなどから、驚きと称賛の声が数多く聞かれることとなり成功を収めた。

しかし、この前例のない新しい大会の数々の挑戦の裏には、それだけ多くの苦悩や葛藤、悩みが生まれ、そして、それらを乗り越えるべく、多くの関係者による膨大な議論と地道な努力が積み重なっていた。

2018.6

“体育”から“スポーツ”へ

「スポーツ基本法の一部を改正する法律」が国会で成立した。これにより、当時、佐賀大会が開催される予定だった 2023 年から、「国民体育大会」が「国民スポーツ大会」に改められることとなった。つまり、佐賀大会は“はじめて”の国民スポーツ大会になった。

体育には体育の目的や役割がある。戦後の 1946 年から始まった国体は、長年にわたり、その揺るぎない使命を脈々と継承してきた。

社会も暮らしも大きく変わった今、世界標準の「スポーツ」へ生まれ変わる絶好のチャンスだと捉えた佐賀県は、国体の歴史や伝統に敬意を表しつつ、徹底的に“スポーツ”にこだわって大会づくりを進めることとなる。



2020.10

SAGA2023 から SAGA2024 へ

ところが、2019年12月頃、突如として新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るいはじめた。あらゆる場面で“自粛”を余儀なくされ、2020年の鹿児島大会も開催できなくなった。しかし、佐賀県は盟友として、2023年開催を鹿児島県にお譲りして2024年にずらず決断をする。

開催年を変更することの影響は大きい。「ターゲットエイジ」(主に当時の中学3年生)にとっては、地元佐賀での出場を夢見て何年も努力してきた「舞台」が突然失われることを意味する。県内の中学生アスリート一人ひとりと語り合うと、彼らは、私たちの予想を超え、「後輩のために鹿児島で頑張ります」と気丈に語ってくれた。

「SAGA2024」は、そんな彼らがいってくれたからこそ実現したのだ。



“新しい大会”への道

2023年は譲っても、佐賀県が決して譲らなかったことが1つだけある。それは、“はじめて”の「国民スポーツ大会」を佐賀で行うことだ。

佐賀が本気で世界標準を目指し、日本のスポーツ史における転換点をつくるためには、どうあるべきか。

「それって、全然スポーツらしくないよね？」
「過去の常識に囚われているだけでは？」
「あり方、ルール自体を変えるべきだ！」
来る日も来る日も、終わりのない議論と試行錯誤の日々が続いた…。

そして、ふと気づけば、この一人ひとりの小さな、しかし、同じ方向に向かう確かな足跡が、幾度も幾人にも踏み固められ、いつしか、新しいひとつの「道」となっていた。



2023.1

『Batons ～キミの夢が叶う時～』

スポーツには、アスリートの努力、歓喜、挫折、家族や友人、サポーターの支え、観客の歓声や熱気、様々な筋書きのないドラマがある。佐賀県出身のプロのアーティストたちと共に、純粋に「すべての人に、スポーツのチカラを。」届ける歌。“スポーツ”にこだわったからこそ生まれたコンセプトだった。

アーティストたちは、担当職員から延々と続くレクチャーを受け、大会にかける熱い思いを理解してから、ようやく歌詞やメロディを紡ぎ出す。ディスカッションを繰り返して何度も修正を重ねる。一筋縄ではいかず、時には意見がぶつかることもあった。それだけ皆が本気になってつくりあげた。

歌詞とメロディが出来上がっても悩みは絶えなかった。これほどの歌を誰が歌うべきか。男声か女声か、ソロか混声か。誰かが「鷲尾伶菜」とつぶやいた。

すぐに、知事が自ら彼女の事務所に出向き、この歌を託せるのは彼女しかいないと歌唱を直談判した。

録音から完成までも細部までこだわり続け、佐賀のサの字も、方言もご当地ネタも一切出でこない、すべての頑張る人たちの背中を押すエールソングが誕生した。



2023.5

新時代のエンタメアリーナ「SAGAアリーナ」

5月13日にグランドオープンを果たしたが、もしもSAGA2024のためだけであれば、まずこのような「舞台」は生まれていない。普通の発想であれば、試合コートがたくさん確保できる体育館のような施設になりがち。しかし、佐賀は、プロスポーツやコンサート、MICE等、SAGA2024の先を見据え、「する」だけでなく、「観る」「支える」、そして「稼ぐ」ことで経済を回すことまで狙って、このアリーナは誕生した。

SAGA2024 体操競技では、パリオリンピック選手の妙技に満員の観客が沸き、バレーボールでは、史上初の「ナイトゲーム」、と同時に初の「アルコール」。仕事帰りや学校帰りに観戦を楽しむ観客が、県外同士の試合で盛り上がる。閉会式では音・光・映像でコンサートさながらの演出が、大会を終えたアスリートを称えた…。

そう。スポーツの可能性は、無限大なのだ。

